蛍光灯ペンダント

取扱説明書　Artemide　ESPRIT　エスプリ

yamagiwa

このたびは、ヤマギワの照明器具をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。
この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。
お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

●電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目　　次

1ページ　：照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意
2ページ　：定格表・オプションパーツ・器具取付寸法
3ページ　：部品名称・器具の取付方法
4ページ　：器具の取付方法（つづき）
5ページ　：照明器具ご使用についての安全上のご注意
6ページ　：ランプ交換のしかた・保守とお手入れ・アフターサービスのお問い合わせ

照明器具の取付（施工）についての安全上のご注意

⚠ 警 告

火災のおそれがあります
◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
◇電源配線は、ランプ表面にふれないように取付けてください。

落下によるけがのおそれがあります
◇取付は取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。
◇器具の取付は、取付ける天井の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。
強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。

感電のおそれがあります
◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。
◇ランプの取付けの際には、必ず電源を切ってください。
◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。

火災のおそれがあります
◇器具に表示されている以外のランプを取付けないでください。

落下によるけがのおそれがあります
◇傾斜した天井や船底天井、及び取付部のまわりに極端な突出部のある天井に、器具を取付けないでください。

⚠ 注 意

◇電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
◇器具に表示された定格電圧以外の電圧で、使用しないでください。
定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと火災の原因となります。
◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。
◇ルーバー及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは、確実に行ってください。
落下によるけがの原因となります。
◇この器具の安定器は、調光用に対応していません。調光器を使用しないでください。
火災の原因となります。
◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
屋外では使用しないでください。感電・火災の原因となります。
◇器具取付の際に、天井の化粧板が厚くて同梱のネジでは十分締め付けられない場合には、同じ径の長いネジをご使用ください。器具落下によるけがの原因となることがあります。
◇アース工事が必要な器具は、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。
感電・火災の原因となります。

お 願 い

電気工事店様へ
工事が終わりましたら、この取扱説明書を、必ずお客様へお渡しください。

0808

ランプ交換のしかた

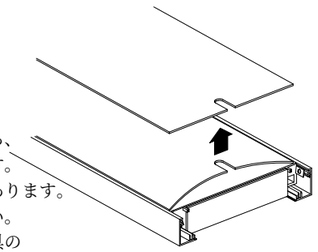
⚠ 注意　必ず電源を切って約１０分待ってから必ず電源を切って行ってください。　感電・やけどの原因になります。

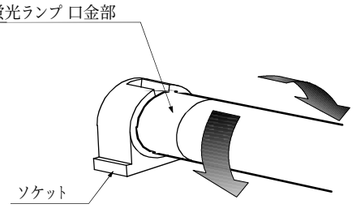
適合ランプ	G5口金Ｔ５(１６mm)管蛍光灯　ＦＨＦ54(別梱ランプ昼白色)

●（アクリル）カバーの切欠き穴に指をかけてカバーを反らして溝から引きはがしてはずしてください。
カバーは静かにあつかい、落下させないようにご注意ください。

●カバーを静かに取外してから、ランプ交換してください。交換が終わりましたら、逆の手順でルーバーをもと通り取付けます。
不備がありますと、器具落下のおそれがあります。

●必ず上記の適合ランプを使用してください。
誤って使用しますと、火災・不点灯・器具の破損のおそれがあります。





ソケットは回転式です。
９０°ランプを回して着脱します。
※細い蛍光管につきランプのお取り扱いには、充分にご注意願います。

保守とお手入れ

⚠注意　必ず電源を切って行ってください。感電･やけどの原因になります。

お 願 い

◇器具のお手入れの際に、ガソリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたないでください。
変色・破損の原因となります。汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
◇ぬれた手で器具に触わらないでください。
◇ガラス・陶磁器類は、こわれやすい材料です。お取扱いの際には、両手で静かに行ってください。
◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。やけどをする場合があります。

●ランプが点灯しない場合は次のことをご確認ください。
・スイッチが入っているか？
・ランプが切れていないか？
・ランプがソケットに確実にはまっているか？

●ランプが寿命になると管端が黒くなったり、点滅をくりかえします。
早めにお取り替えください。

●低温時の点灯では、チラツキや点灯の遅れ、照度不足（光束不足）を生じることがありますが、故障ではありません。
時間の経過と共に安定器の温度やランプの温度が上昇すれば正常にもどります。

お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

愛情点検

アフターサービスのお問い合わせ

yamagiwa

商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

ヤマギワ　リビナ本館　〒101-0021 東京都千代田区外神田１丁目５番１０号　TEL(03)3253-5111(代表)
ダ・ドリアデ　青山　〒107-0062 東京都港区南青山３丁目１６番３号　TEL(03)5770-1511(代表)
東京営業部　〒101-0021 東京都千代田区外神田１丁目５番１０号　TEL(03)3253-5143(代表)　ヤマギワリビナ本館
外商営業本部　〒101-0021 東京都千代田区外神田１丁目５番１０号　TEL(03)3253-5150(代表)　ヤマギワリビナ本館
札幌営業所　〒060-0002 北海道札幌市中央区北二条西１丁目１０番地　TEL(011)221-1321(代表)　ピア２‐１ビル７階
仙台営業所　〒980-0014 宮城県仙台市青葉区花京院２丁目１番６１号　TEL(022)227-1251(代表)　第５タカノボルビル８階
横浜営業所　〒231-0015 神奈川県横浜市中区尾上町６丁目８９番１号　TEL(045)664-2871(代表)　尾上町スカイビル５０３
ヤマギワ　名古屋　〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵１丁目２２番２０号　TEL(052)931-2111(代表)
名古屋営業所　〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵１丁目２２番２０号　TEL(052)931-3223(代表)
ヤマギワ大阪　〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町３丁目６番６号　TEL(06)6258-6711(代表)　御堂筋センタービル1・２階
近畿営業部　〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町３丁目６番６号　TEL(06)6258-6721(代表)　御堂筋センタービル２階
金沢営業所　〒920-0901 石川県金沢市彦三町２丁目１番４５号　TEL(076)222-6733(代表) 明治安田生命金沢第二ビル５階
高松営業所　〒760-0062 香川県高松市塩上町３丁目８番１１号　TEL(0878)39-3195(代表)　クリエイトビル３０２
広島営業所　〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里１丁目１番６８号　TEL(082)568-5371(代表)　広島パレスビル２階
福岡営業所　〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴２丁目１番１０号　TEL(092)721-5661(代表)　ＯＲＥ福岡赤坂ビル７階
宇都宮出張所　〒321-0953 栃木県宇都宮市東宿郷６丁目７番１６号　TEL(028)638-1002　マスミトータルビル２階
高崎出張所　〒370-0071 群馬県高崎市小八木町２００８番５　TEL(0273)62-6920　三恵レジデンス１０７
静岡出張所　〒420-0072 静岡県静岡市葵区二番町７番６号　TEL(054) 273-5305　@ ローズガーデン４０６

0780

所在地・電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

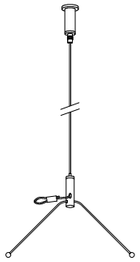
定格表

カタログ番号	型　番	器具タイプ	使用電圧 周波数	入力電流	消費電力	適合ランプ	質量
F－０３６G	G7FB－１２Z５－２G	インダイレクト	AC100／200V 50/60Hz	1.06A(100V) 0.53A(200V)	105W(100V) 104W(200V)	G５ 蛍光ランプ FHF５４W×２ （同梱ランプ昼白色）	5.1kg
F－０３７G	G7FB－１３Z２－２G	デュアル イルミネーション					

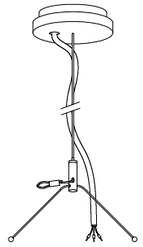
本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

オプションパーツ

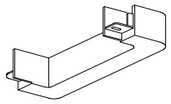
ワイヤー吊りフランジ
Z１０９４G
G7FZ-32Z9-ZG



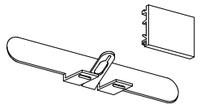
ワイヤー吊りフランジ
（給電付）
Z１０９５G
G7FZ-33Z6-ZG



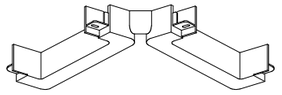
エンドコネクター
Z１０９１G
G7FZ-29Z3-ZG
（2個入り）



直線連結コネクター
Z１０９２G
G7FZ-30Z4-ZG
（2個入り）



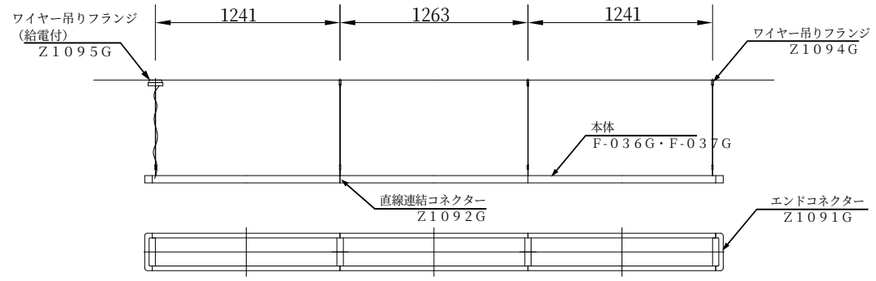
L型連結コネクター
Z１０９３G
G7FZ-31Z1-ZG
（1組）



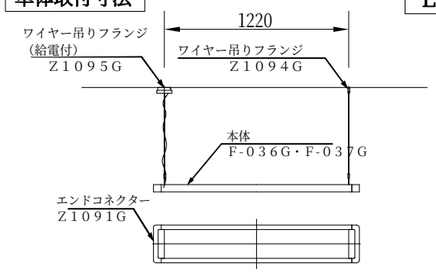
器具取付寸法

取付寸法基本図

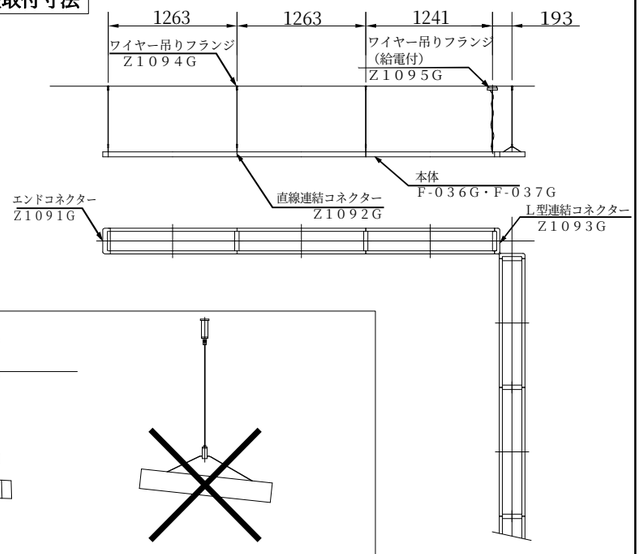
直線連結取付寸法



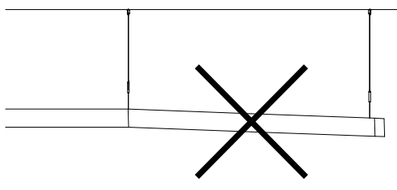
単体取付寸法



L型取付寸法



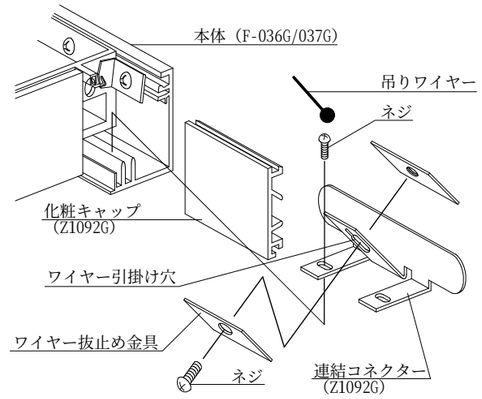
＊器具は必ず水平に吊ってください。

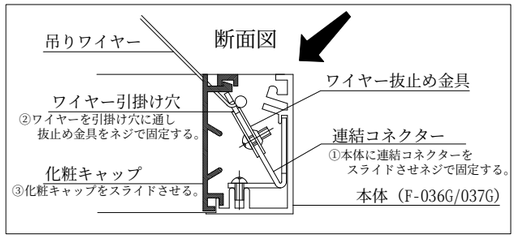


詳しい調整方法は　『ワイヤー調整方法』　をお読みください。

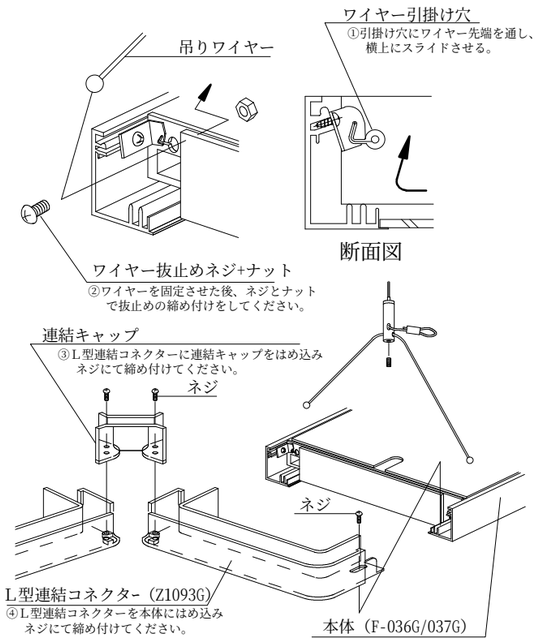
■器具本体の連結

「直線連結コネクター：Z１０９２G」の場合の取付方法





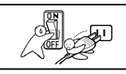
「L型連結コネクター：Z１０９３G」の場合の取付方法



照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警 告

感電のおそれがあります
◇ランプの交換や、器具のお手入れの際には、必ず電源を切ってください。



感電・火災のおそれがあります
◇異常時（煙が出たり、変な臭いがする時）には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。

感電・火災のおそれがあります
◇器具及び部品の改造をしないでください。
◇器具のすきまに、異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。

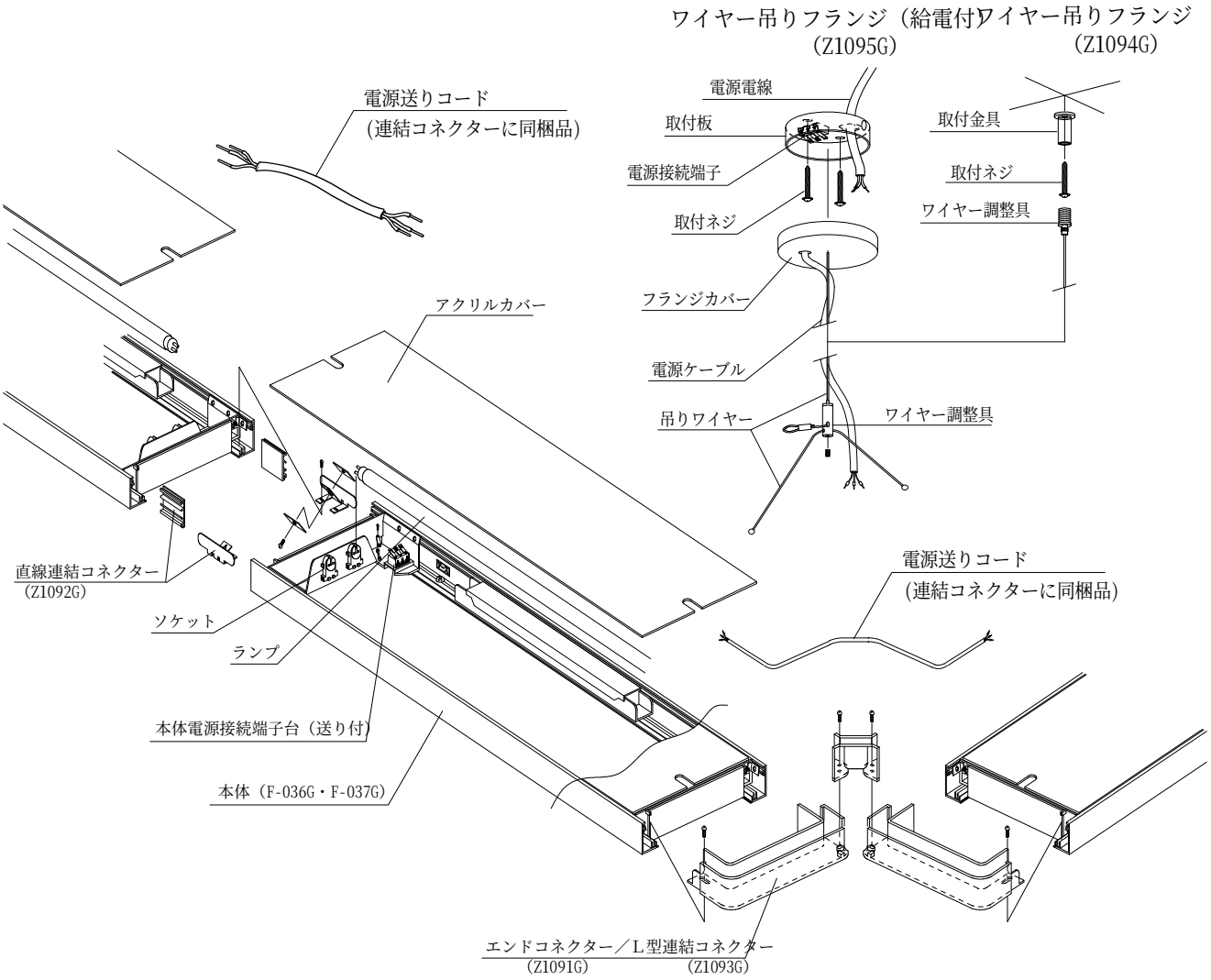
やけどのおそれがあります
◇点灯中及び消灯直後のランプにさわらないでください。

火災のおそれがあります
◇器具に表示されている以外のランプを使用しないでください。
◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。又カーテン・揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。

⚠ 注 意

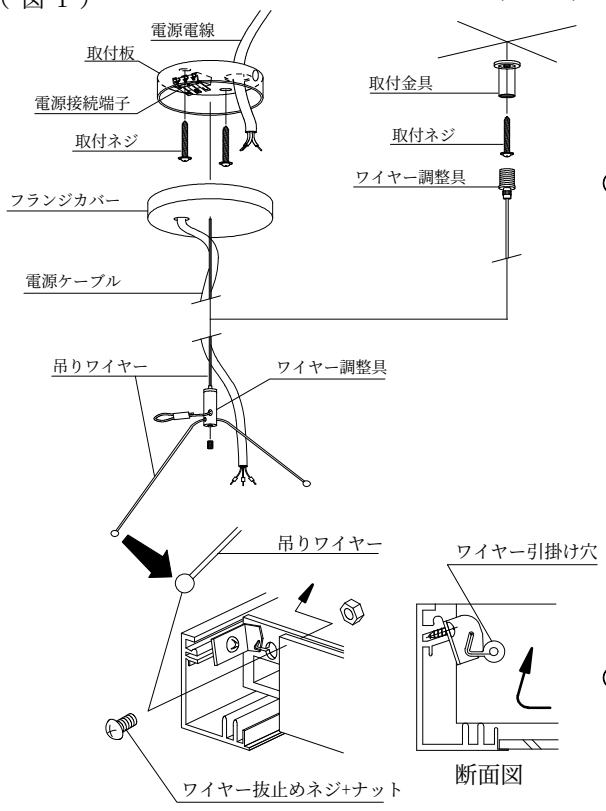
◇器具の保守・お手入れ等で、無理に器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具の落下によるけがの原因となることがあります。
◇ルーバー及びランプの着脱は、両手で静かに扱い、取付けは確実に行ってください。
落下によるけがの原因となることがあります。
◇明るく安全に使用していただくために、器具を定期的に（6ヶ月に1回程度）清掃、点検してください。器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、脱落、コードの痛みがないかお調べください。
◇器具に水をかけたり、水の中につけて洗わないでください。感電や火災の原因となることがあります。
◇器具の下に温度の高くなるストーブや、発熱体を置かないようにしてください。
器具の変形や火災の原因となることがあります。
◇点灯中及び、消灯後はランプにさわらないでください。やけどの原因となります。

部品名称



器具の取付方法

ワイヤー吊りフランジ（給電付） ワイヤー吊りフランジ
（図１） (Z1095G) (Z1094G)



【施工のまえに】

■１回路につき**１０Ａ**までの電源送りが可能です。

■取付部の強度は器具質量に十分耐えるようにしてください。
必要に応じて補強工事を施工してください。
不備がありますと器具落下の原因となります。

■傾斜した天井には取付できません。

①ワイヤー吊りフランジを天井にとりつける（図１）

フランジと取付板（取付金具とワイヤー調整具）とを分離し、天井の取り付ける場所の強度をご確認のうえ、２ページの「器具取付寸法」を参照して、適切な間隔を取って取付板を同梱の取付用ネジ、を使用して天井に取付けます。

給電用フランジの場合は図１を参照して、電源電線と器具の電源ケーブルをフランジ内部の電源接続端子台に結線してください（詳しくは 端子台への接続　図4　を参照）。また、アース線は取付板上のアースネジに接続してください（この器具は、**D種接地工事(第3種接地工事)**が必要です）

また、吊高さを変更する場合には、図２を参照してワイヤーの長さを調整してください。

ケーブルの長さを詰める場合は再度、電源ケーブルの被覆をむいて結線してください。

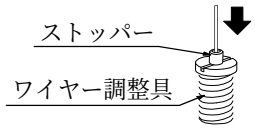
作業を行うときは、**必ず電源を切って**開始してください。
不備がありますと、**感電の原因**となります。

②吊りワイヤーを本体に固定する

吊りワイヤーを本体のワイヤー引掛け穴に通し矢印のように横上にスライドさせ固定してください。固定後、抜止めネジとナットで締め付けてください。不備がありますと、**落下の原因**となります。

図 2　　ワイヤー調整方法

■ワイヤーを短く調整する場合
下図のようにワイヤー調整具にワイヤーを押込んでください。
この時、必ず器具本体は支えながら行ってください。



ストッパーを押さなくても
ワイヤーが入り、戻らない
ようになっています。

■ワイヤーを長く調整する場合
器具本体をしっかり支えながら、下図のようにワイヤー調整具のストッパーをゆるめて、器具の位置を下げるように調整してください。

⚠注意
ストッパーを押し下げている間はワイヤーはロックされませんので器具の重さで一気に下がってしまいます。
吊り長さを長くする時は必ず器具本体を支えながら調節を行ってください。

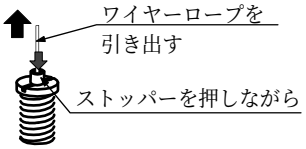


図 3

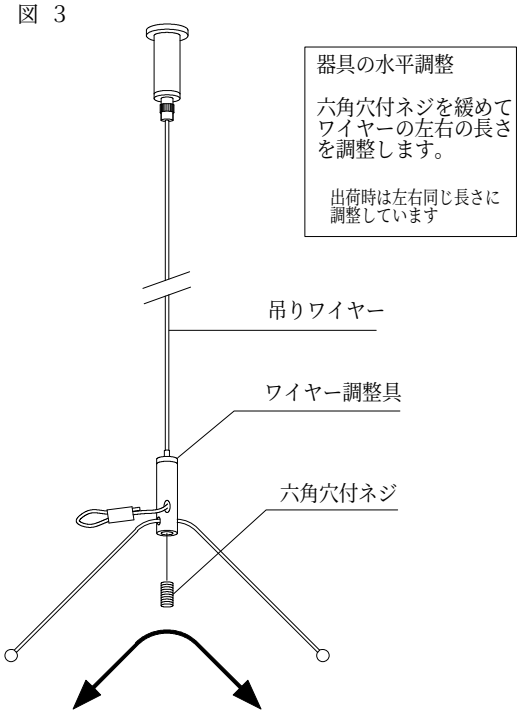
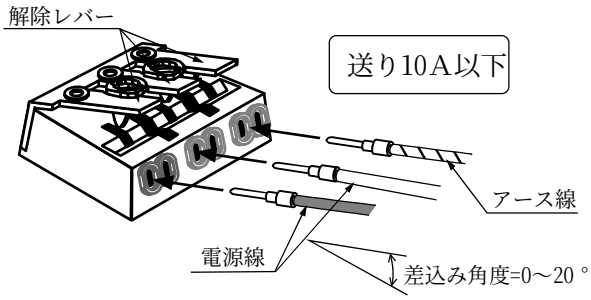


図 4　■本体内部の端子台への電線の接続

注意：端子台への電線の抜き差しは必ず、
レバーを押しながら行ってください。



1系列最大送り容量:10Aまで
100V給電の場合は器具 8台まで
200V給電の場合は器具16台まで

●電線先端の棒端子は、**必ず端子台の解除レバーを押しながら**、上図の範囲の角度で、矢印の方向に、止まるまで差し込んだあと、引っ張ってみて抜けないことを確認してください。
●外すときも、**解除レバーを押込んで外してください。**

フランジカバーは、取付板に押しつけると側面内部のツメが掛かって固定されます。
ワイヤーロープは、２ページの「器具取付寸法」を参照して、最大1100㎜までの長さで、器具を水平に吊下げるように調整します。不備がありますと、**器具落下の原因**となります。

②吊り下げたワイヤーを調整する（図２・３）
図２・３を参照して、ワイヤーの長さ調整をします。
所定の高さに水平に器具が吊られるように調整してください。

③電源線とアース線を接続端子台に接続する（図１・４・５）
３ページの電源電線の接続および、本体電源接続は図４を参照して接続してください。また本体電源接続の際は、本体内部のコードストッパーに電源線を固定した上で、端子台に電源線とアース線（または送り線）を接続します。
不備がありますと**火災・感電・不点灯の原因**となります。

④エンドコネクターの取付け（器具を単体で設置する場合：図６）
連結をしない本体の端部には、下記の図６を参照して、エンドコネクターをネジ２本で締めて固定します。
本体とエンドコネクターが隙間無いように、しっかり固定します。このとき、無理にネジを締付けすぎないように、ご注意ください。
不備がありますと、**器具破損の原因**となります。

⑤器具を連結する（複数の器具を連結して設置する場合）
５ページの「器具本体の連結」を参照して接続してください。
器具本体を連結する場合は、連結コネクターまたはＬ型コネクターに同梱のネジ・ナット等は指定本数を余さず使用して、確実に固定してください。（連結しない側は④と同様です。）
器具を連結して本体間で電源の送りをする場合には、必ず同梱の送り用電線を使用して連結する器具の端子台間に電源線とアース線を接続してください。
電源の送りをする場合、**１回路につき１０Ａ（100V給電の場合は器具８台、200V給電の場合は器具１６台）まで**の接続が可能です。
不備がありますと、**火災・感電・不点灯の原因**となります。

図 6

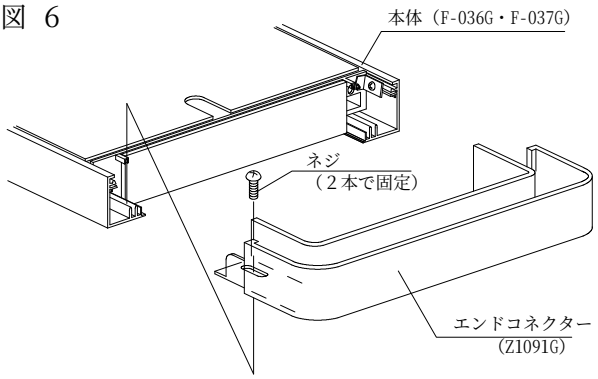
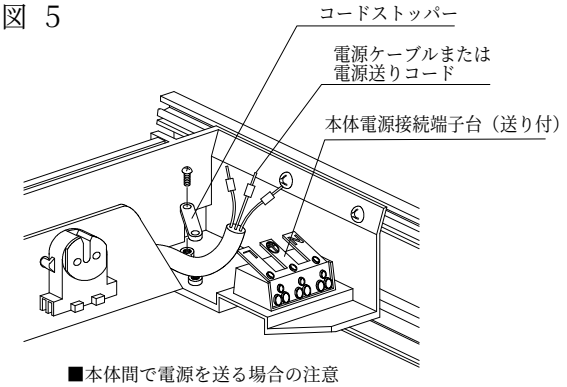


図 5



■本体間で電源を送る場合の注意
●必ず「電源送りコード」（同梱）を使用して接続してください。
●「電源送りコード」の両端は、処理済みですので、加工せずに使用してください。

⚠ 注意　必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。